

本物。鹿児島県 特産品 探訪

新特産品コンクールの入賞商品を紹介しながら、「本物。」の魅力を伝えます。

ば しょう つむぎ 芭蕉紬の中折れ帽

2009年かごしまの新特産品コンクール
(社)鹿児島県特産品協会理事長賞

株式会社メイフェア 三洲堂テラー
〒892-0842 鹿児島市東千石町18-8
TEL 099-224-6255
税込31,500円 (オーダー価格)



芭蕉の繊維と絹糸を合わせた糸で織られている芭蕉紬。この生地で作られた中折れ帽の作者、『メイフェア三洲堂テラー』の帽子職人のヒメオさんにお話を伺いました。

鹿児島では、馴染みの薄い帽子職人というお仕事ですが、どういうきっかけで帽子職人の道へ？

デザイナーの勉強をしていたころに帽子作りの先生と出会ったのが、この道に進むきっかけでした。帽子職人としてやっていけるかどうか不安な時期もあったので、多くの方に自分の作った帽子を身につけてもらいたい帽子職人としていられることが幸せです。

芭蕉紬を使った中折れ帽子が注目を浴びていますが、どのような帽子ですか？

夏の男性用帽子を作りたいと考えていましたが、軽さ、涼しさを失わず張りを実現できるような生地になかなか巡り会えませんでしたね。芭蕉紬に興味はありましたが、着物に使う高級素材のため、帽子を作るにはぜひたくすざる生地だと半ばあきらめていました。

そんな時に、芭蕉紬の生地を提供してもらえらることに、念願の帽子作りをスタートさせることができました。芭蕉紬で作成した中折れ帽の特徴は、高い吸湿性と軽さに加え、張りがあること。また芭蕉だけでなく、絹糸も使わ

れているので、光沢もありフォーマルな装いにもしっくりくる仕上がりになったと思います。でも、まだまだ改良していきたい部分も多いですね。いつか、芭蕉100%の生地にも挑戦していきたいです。

やりがいを感じるのは、どんなときですか？

やはり、お客さまに喜んでいただいた時ですね。目の肥えたお客さまに納得してもらおう商品を作ることは難しく、また相当なプレッシャーがあります。だからこそ、質の高い商品を提供できる技術を養っていききたいです。

帽子作りを通して、いろいろな方に出会う機会が増えました。これからも、出会いを大切にしてい刺激を受けながら帽子を作っていきたいですね。芭蕉紬の帽子をきっかけに、大島紬にも興味を持たれる方も多くいらつしゃいます。大島紬は着物だけではなく、鮮やかな色のストールやネックレスなどもあり、最近では雑誌でもよく取り上げられています。こういう情報を、もっと多くの方に知ってもらえる架け橋としても頑張りたいと考えています。

プレゼントコーナー

名刺入れを4名様にプレゼント

応募締切 平成22年8月31日(火)

応募方法 ハガキ、FAXまたは電子メールに

①「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業
⑦電話番号を記入のうえ、下記までお送りください。

- はがき宛先 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県広報課「グラフかごしまプレゼント係」
- FAX 099(286)2119(件名は「グラフかごしまプレゼント」)
- メールアドレスh-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp(件名は「グラフかごしまプレゼント」)

※いただいた個人情報、プレゼント送付以外の目的には利用しません。
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



帽子の形を確認するヒメオさん。

三洲堂テラーで働くようになってから、テラー職人の方にアイロンでの生地の割り方や、ミシンの使い方を教えてもらっています。仕立てがきれいと言われるとうれしいですね。こうやって帽子を作っているのも周りの皆さんが支えてくださっているおかげです。



県産品総合展示販売場「鹿児島ブランドショップ」(県産業会館1階)

お中元に県産品をどうぞ！
かごしま夏のギフトフェア
平成22年8月中旬まで

県内の特産品の問い合わせ、ご用命は
鹿児島ブランドショップへ
[特産品協会ホームページURL] <http://www.k-p-a.jp>

社団法人 鹿児島県特産品協会
〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館
☎099-225-6120 FAX099-223-0755
定休日 年末・年始 営業時間 午前9時～午後6時
東京店 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-6-4 千代田ビル3F
☎03-3506-9171 FAX03-3506-9172
定休日 年末・年始 営業時間 午前10時～午後6時

